



表紙：「夕虹（ゆうにじ）」

撮影：荘司 裕 さん

コメント：幕別のある夏の日の夕暮れ時、夕日で赤く染まった空の大きな虹は見た人に希望を与えてくれているように思えました。

令和4年第3回定例会 第3回臨時会 審議結果	2～4 P
幕別町のここが聞きたい 6人の議員が一般質問	5～11 P
委員会レポート 議会日誌	12～13 P
令和3年度決算審査特別委員会 Q & A	14～15 P
委員会クローズアップ 産業建設常任委員会 編集後記	16 P

まくべつ
議会だより
題字 創刊号編集委員長 齊藤 毅雄 氏

9月定例会
(会期) 8月30日
～9月21日

No. 209
令和4年11月1日

第3回定例会

令和4年第3回幕別町議会定例会は、8月30日から9月21日までの23日間で開催されました。
 今定例会では、町長が行政報告を述べたほか、条例制定や改正、補正予算の議案等が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。
 一般質問では6人の議員が子育てに関することや環境問題について、町理事者に質問をしました。

条例の制定

○幕別町ナウマン公園キャンプ場
 条例

健全なレクリエーション、健康増進および余暇活動の充実を図るとともに、観光振興に資する公の施設として、条例を制定するもので、産業建設常任委員会に付託され、原案のとおり可決されました。

条例の一部改正

○幕別町公の施設の使用料等に関する条例の一部を改正する条例

ナウマン公園キャンプ場の使用料を新たに加えるもので、産業建設常任委員会に付託され、原案のとおり可決しました。

○幕別町都市公園等条例の一部を改正する条例

ナウマン公園キャンプ場をナウ

マン公園の公園施設とする改正で、産業建設常任委員会に付託され、原案のとおり可決しました。

○幕別町議会議員及び幕別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
 令和4年4月公職選挙法施行令の一部改正により、幕別町議会議員および幕別町長選挙における選挙運動に係る自動車の使用ならびにビラおよびポスターの作成の公費限度額を改めるもので、原案のとおり可決しました。

○幕別町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正により、同一の子の育児休業回数が1回から原則2回までに改正され、人事院規則の改正により非常勤職員の育児休業取得の要件が緩和され、令和4年10

月1日から施行に伴い所要の改正をするもので、原案のとおり可決されました。

○幕別町手数料条例の一部を改正する条例

住宅の質の向上および円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、既存住宅の増改築等で認定基準を満たし、認定後の維持保全が適切に計画されたものは、長期優良住宅の認定を受けることができる制度が創設されることに伴い、建築行為を伴わない住宅に係る手数料を加えるためのもので、原案のとおり可決しました。

○幕別町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、後期高齢者医療制度において窓口負担が2割となるものについて、北海道が、現行制度の1割を維持する北海道医療給付事業の対象者の見直しを行ったことに伴い、同様に対象者の見直しを行う等所要の改正をするもので、原案のとおり可決しました。

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための幕別町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例
 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者が休業しややすい環境を整えることを目的に、保険給付として傷病手当金の支給を特例的に行う本条例について、国の財政支援の適用期間に合わせて、失効日を「令和4年9月30日」から「令和4年12月31日」に改めるもので、原案のとおり可決しました。

○幕別町水道事業給水条例の一部を改正する条例

原油価格や物価高騰の影響により経済負担が増大しているため、住民や事業者の負担軽減策として、幕別町との水道契約者を対象に、水道料金の基本料金を6カ月間（令和4年9月分から令和5年2月分）徴収しないこととするもので、原案のとおり可決しました。

水道使用量のお知らせ

区分	単価	使用量	金額
基本料金	100円	1	100円
従量料金	100円	1	100円
合計			200円
手数料			10円
合計			210円

水道検針表

その他の審議議案

○指定管理者の指定について
幕別町忠類歯科診療所の指定管理者を「医療法人社団航慎会」に指定し指定期間を令和5年4月1日～令和10年3月31日までの5年間とするもので、民生常任委員会に付託され、原案のとおり可決しました。

○教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
現教育委員会委員の小尾一彦氏が本年9月30日をもって任期満了となり、引き続き同委員の任命について提案があり、議会で同意しました。
※任期4年

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
現人権擁護委員の佐藤晋氏が本年12月31日をもって任期満了となり、引き続き同委員の推薦について提案があり、議会で適任としました。
※任期3年

○公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
現公平委員会委員の山崎和夫氏が、本年9月30日をもって任期満了となり、引き続き同委員の選任

について提案があり、議会で同意しました。
※任期4年

公平委員とは

地方公務員法の規定により設置される委員会で、自治体職員の勤務条件等について、適切な措置が取られているかチェックする機関です。

第3回臨時会

令和4年8月2日開催

○工事請負契約の締結について
(あかしや南団地公営住宅3号棟解体工事) 【5153万5千円】
あかしや南団地公営住宅の建替事業で、3号棟の解体するもので、原案のとおり可決しました。

○工事請負変更契約の締結について
(ふれあいセンター福寿駐車場改良工事) 【5101万8千円↓6226万円】
令和4年第2回臨時会で議決した工事契約について、設計変更に伴い契約金額の変更を行うもので、原案のとおり可決しました。

令和4年度補正予算を可決

一般会計などの補正予算について原案のとおり可決しました。

会計	補正額	補正後の総額	主な補正内容
第3回臨時会 一般	1億3533万6千円	165億6516万8千円	葬祭場エアコン設置工事 ふれあいセンター福寿改修工事 他
第3回定例会 一般	4億5895万円	170億2411万8千円	公共施設エアコン設置工事、高齢者等物価高騰対策緊急支援給付金、子育て世帯生活応援給付金、ナウマン公園キャンプ場整備工事、障害者自立支援給付事業生産還付金、新型コロナウイルスワクチン接種事業、産地生産基盤パワーアップ事業補助金、水道料金負担軽減対策支援事業 ほか
国保	173万6千円	29億3672万8千円	過年度国庫支出金等清算還付金
介護	1億6245万9千円	29億6610万5千円	過年度国庫支出金等清算還付金
簡易水道	787万円	5億2425万円	簡易水道施設維持管理事業、料金データ作成業務委託料
公共下水道	319万円	11億4316万8千円	マンホールポンプ更新工事、浄化センター維持管理事業
個別排水	1771万4千円	2億1906万円	排水処理施設整備工事、個別排水処理一般管理事務事業
水道事業	6万円	9億3613万1千円	料金データ作成業務委託料

○第3回定例会（8月30日～9月21日）

■審議した議案

（一部抜粋して掲載しています。）

議 件 名	結 果	議 件 名	結 果
令和3年度幕別町健全化判断比率の報告について	報告済(8/30)	令和4年度幕別町一般会計補正予算(第7号)	原案可決(9/7)
幕別町ナウマン公園キャンプ場条例	産建付託(8/30) 原案可決(9/21)	【令和4年度幕別町7特別会計補正予算※2】	原案可決(9/7)
幕別町公の施設の使用料等に関する条例の一部を改正する条例	産建付託(8/30) 原案可決(9/21)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための幕別町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決(9/21)
幕別町都市公園等条例の一部を改正する条例	産建付託(8/30) 原案可決(9/21)	幕別町水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決(9/21)
指定管理者の指定について	民生付託(8/30) 原案可決(9/21)	幕別町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決(9/21)
令和3年度幕別町一般会計決算認定について	決特委付託(8/30) 認定(9/21)	令和4年度幕別町一般会計補正予算(第8号)	原案可決(9/21)
【令和3年度幕別町8特別会計決算認定について ※1】	決特委付託(8/30) 認定(9/21)	令和4年度幕別町簡易水道事特別会計補正予算(第3号)	原案可決(9/21)
幕別町議会議員及び幕別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決(9/7)	令和4年度幕別町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決(9/21)
幕別町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決(9/7)	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意(9/21)
幕別町手数料条例の一部を改正する条例	原案可決(9/7)	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意(9/21)
幕別町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決(9/7)	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任(9/21)

※1：8特別会計 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、簡易水道、公共下水道、個別排水処理、農業集落排水、水道事業会計
 ※2：7特別会計 国民健康保険、介護保険、簡易水道、公共下水道、個別排水処理、農業集落排水、水道事業会計

意見書・陳情書

※採択となった意見書の提出を求める陳情書は、幕別町議会として意見書を関係機関に提出しています。

意 見 書 等	結 果	陳 情 者 ・ 提 出 者
※適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書の提出を求める陳情書	民生付託(8/30) 不採択(9/21)	帯広民主商工会
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	原案可決(9/21)	議員提案

（※印は、賛否の分かれたもので下記に各議員の賛否を掲載します。）

■賛否の分かれたもの

[表示例○…賛成 ×…反対 欠…欠席 棄…棄権] ※寺林俊幸議長は表決に加わらない。
 （※会議規則により賛成・反対のいずれも表明しない場合、反対したものとみなします。）

種別	議員名 (会派名)	議員名															議決 結果	議決 日	
		石川 康弘	小田 新紀	内山 美穂子	藤谷 謹至	小島 智恵	若山 和幸	岡本 真利子	荒 貴賀	酒井 はやみ	野原 恵子	田口 廣之	谷口 和弥	芳滝 仁	千葉 幹雄	小川 純文			藤原 孟
陳情	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書の提出を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	不採択	9/21

【議員名の下は会派名：共…日本共産党幕別町議員団、拓…拓政会、政…政清会、風…政風クラブ、正副議長は会派に所属しません。】



野原 恵子 議員
(日本共産党
幕別町議員団)

問

2009年にユネスコが発表した「国際セクシュアリティ教育ガイドランス」では、その人らしい性は基本的人権そのものであり、性教育は現代社会では不可欠としている。また、性的研究が進み専門家からは、命の尊厳を理解するには、0歳からの性教育が必要と提起されている。

2023年度から文部科学省が推進する「生命(いのち)の安全教育」が全国の小中学校において実施されるが、性暴力や性被害の予防や対処に関する教育に位置づけられ性教育として不十分である。以下について伺う。

- (1) 保育所・幼稚園での性教育はどのように行われているのか、また保護者、保育士、幼稚園教諭の研修は、(2) 子どもたちの性情報は歪んだ情報が多く、包括的性教育が必要と考えるが、その手立ては、(3) 性教育は保護者、学校、地域の連携により理解が深まり、子どもたちを守ることになるため研修の場を。

問 子どもの人権、ジェンダー平等を柱にした性教育を
答 教科等横断的視点に立つ教育活動を通して「いのちの安全教育」に取り組みたい

教育長

(1) 町立保育所およびわかば幼稚園は「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」ことをねらいとして一人ひとりに向き合っており取り組んでいる。

保育士、幼稚園教諭の研修状況については、園内外の保育・教育に関するさまざまな研修において、性教育に関する研修も行っており、研修から性教育に関する理解を深めている。今後においても、保育士、幼稚園教諭の研修の充実を図るとともに、コロナ禍で研修が開催出来ない保護者研修会について、今後開催する際には、保育士や幼稚園教諭が研修で得た性教育に係る保護者の役割や子どもへの対応方法等について、保護者が性教育に関する理解を深められるよう取り組む。

(2) 「包括的性教育」は現在「学習指導要領」に明確に位置づけされていないが、学級活動や総合的な学習の時間を通して、児童生徒が性暴力の加害者、被害者、傍観者

にならないための教育と啓発に取り組む。

(3) 各学校では保健体育や総合的な学習の時間の中で、性教育として取り扱っているほか、道徳や学級活動の中で生命の尊さや男女の相互理解、人権問題等の学習を通して部分的に取り組んでいる。また、図書館において性教育に資するような図書を紹介するような事業を実施し、性教育に関わる学習の場としての機能も果たしていると考えている。

【解説】

『包括的性教育』とは、乳幼児期から高齢期まで、性的発達と人生の歩みにおけるあらゆる局面に、賢明な選択と対応ができ、自らと他者の尊厳を大切にできる知識・態度をはぐくむこと。



問

日本では、戸籍上同性である場合や、自らの性自認(心の性)での入籍は制度上できない。このため、配偶者や家族に認められている制度やサービスが利用できないなど、さまざまな困難や生きづらさに直面している。

性的あり方に関わらず誰もが個人として尊重され安心して住める町として、パートナーシップ制度の導入を。

町長

LGBT等の方々は社会生活やさまざまな面で生きづらさを抱えているとされており、性的指向や性自認に伴う差別や偏見を解消し、日常生活の困難や生きづらさを軽減を図るために、制度の導入をする自治体が増えつつある。本町においても制度の創設を望んでおられる方が潜在的に存在していると推測されることから、制度導入を見据え研究を進める。

問 パートナーシップ制度の導入について
答 制度の導入を見据え、研究を進める



藤原 孟 議員
(無党派)

問

全ての町民が気候危機を自分のこととしてとらえ行動を変えることが必要と考え、エコな暮らしを気付いて築くため、日々の暮らしを明るく楽しく、そのような生活の応援をする場を商店街の空き店舗に開設してはどうか。

国の脱炭素政策はエネルギーの供給側の新技術の開発が主流であるが、近年は産業や運輸、家庭、農業など需要側の対策を検討し、進めようとしている。それ故に脱炭素社会の実現に少しでも貢献するため、低コストで身近な対策の一つとして「幕別環境ひろば」の開設を求める。この開設の目的の一つ目は、地域の交流拠点とする。二つ目は、エコ情報を発信する拠点とする。三つ目は、環境問題に住民と企業や行政との新しい共同関係を創設していく事だが、以下の点について伺う。

(1) 町民にとって公共的財産であった廃業した銭湯を使い開設しては。(2) 定住のために地域おこし協力隊の人材を活用してはどうか。

問 幕別環境ひろばの開設を商店街に
答 幕別町地球温暖化対策推進委員会において提案を含め検討する

(3) 町からの支援策は。
(4) 子どもたちへの町の環境教育の取り組みについて。
(5) 3R・低炭素社会検定の受験を進めるため、小中高の若者に助成は。

町長

(1)、(2)、(3) 廃業した銭湯を活用した、環境問題等の各種取組については、いずれも町民や事業者が、環境を考え、意識の向上を図り、行動へと結びつけていく機会として大切なことと認識している。

9月中旬に大学教授や事業者、町民等の代表者15人で組織する「幕別町地球温暖化対策推進委員会」を立ち上げ、町民等とともに環境を考え、意識を共有しながら、具体的な温室効果ガス削減目標や、その対策および行動計画等を定めた(仮称)「幕別町地球温暖化対策実行計画」を策定する。今後、提案のあったことも含め検討する。

(5) 原則、個人の資格につながる各種資格試験等に対する助成は行っていないが、幕別清陵高等学校に

については、町内高校支援策の一つとして「魅力ある高校づくり支援事業」を実施し、その中で進学や就職に向けたキャリアアップを図るための資格検定料等の一部について補助を行っていることから、選択肢の一つとして「3R・低炭素社会検定」が考えられないか、高校と協議をする。

【解説】

「3R・低炭素社会検定試験」とは、ごみ・循環型社会に関する「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の知識や、地球温暖化に関する低炭素社会の環境理念に関する知識をもった人(リーダー)の動きとつながりをつくるための検定です。検定は「3R部門」と「低炭素社会部門」の2つがある。

教育長

(4) 環境教育については「学習指導要領」に基づき、学校経営計画の一つとして環境教育計画を定め、

環境や資源、エネルギー等に関心を持ち、自然を大切にしようとする心を育むことなどを目標に掲げ、社会科学や理科のみならず、さまざまな教科で教科等横断的に学習している。

また、昨年度から中学校でSDGsを学習する取組の一つとして、カードゲーム公認ファシリテーターを講師として出前授業を実施し、持続可能な環境について学習している。

環境教育は、持続可能な社会の構築に向けて、大切な取組の一つと認識し、小中学校において、引き続き教科等横断的な視点に立った教育活動を行っていく中で、子どもたちが環境問題について学習し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組んでいけるよう努める。





岡本真利子 議員
(政清会)

問 子どもの未来を守り育てる取組について

答 わずかな兆候や小さなきっかけを見逃さないことが重要

問 (1) 低出生体重児支援について 出生時の体重が2500グラム未満で生まれた赤ちゃんのことで子育て・成長を見守る過程でさまざまな問題を抱える中、行政はどのように支援していくのか伺う。

- ① 直近の低出生体重児数とその後の支援体制。
- ② リトルベビーハンドブックの導入に向けた動きについての認識。
- ③ 3歳児健康診査の視力検査について

強い屈折異常や斜視が見逃された場合に治療が遅れ十分な視力が得られないこともあり早期発見、早期治療が必要とあるが町の見解は、

- ① 3歳児健康診査の現状。
- ② 精密検査対象数と弱視に判断された数。
- ③ 夏休み明けの「子どものSOSを見逃さない」ための対応について

長期休業中は、児童生徒の生活が不規則になること、問題行動や不慮

の事故が発生しやすいこと、また新型コロナウイルス流行により学校生活に影響を受け2020年には小中学校の自殺者が過去最多となり、周囲の大人がSOSを見逃さないよう教員、保護者に対しての注意喚起について伺う。

町長

(1) ① 5年間で低出生体重児は62人、出生児数に占める割合は8.2%であった。低出生体重児の支援体制は、保健師による妊婦訪問や新生児訪問をはじめ、助産師による産後ケア事業において、個々の児に合わせた子育て方法や母親の悩みの解決が図られるよう、より親身になった支援を行っている。

(2) ② 新生児訪問や乳幼児健診時に不安や悩みの相談に応じるとともに、低出生体重児の保健指導マニュアルや参考文献、過去のデータや他自治体のリトルベビーハンドブックなども参考にしてアドバイスを行っている。現在、道においてもハンドブックの作成の検討をしているため、完成した際には活

用し、より母親の気持ちに寄り添った支援をする。

(2) ① 一次検査として、家庭において問診の記入と絵指標での視力検査を行い、二次検査の検査会場において記入内容と視力検査の結果を確認するほか、家庭で十分な検査ができなかったな場合には再検査を行い、健診担当医師の診察を受けたうえで、精密検査が必要と判断された場合は専門医療機関を受診していただいている。

(2) ② 過去3年間で、健診受診者数541人のうち、精密検査が必要とされた児は25人で、弱視は1人。

教育長

(3) 7月の長期休業前に開催した校長会議において、自殺予防に向けた取組、児童虐待の防止対策、早期発見・早期対応、相談窓口の周知の3点について、児童生徒の実情に応じて適切に指導するなど、児童生徒の命と心を守る取組に万全を期するよう「夏季休業に向けての児童生徒の指導等について」の通知を行った。また、各保護者

に対しても、学級通信や北海道教育委員会広報誌「ほっとネット」などで、家庭内での見守りの促進や相談窓口等の周知を行った。

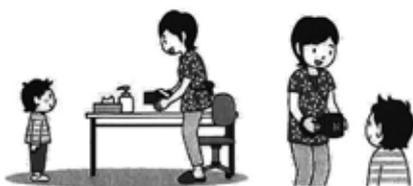
再質問

子どもの目の機能は6歳までにほぼ完成するといわれている中で、現在の検査方法でより精密な検査値であるのか危惧される。3歳児健診で目の異常を早期に見出すためには屈折検査機器での検査が必要ではないのか。

町長

現在、屈折検査機器の導入について検討している。本年度中に、機器操作等について保健師の研修を行うとともに、実際の3歳児健診の現場で指導等を受けるなど、導入の際に、スムーズに屈折検査が行えるよう準備を進める。

<検査の様子>





中橋 友子 議員
(副議長)

問

異常気象による災害が多発し「気候危機」が広がっている。2021年に国連気候変動枠組条約第26回締約国会議で、2050年までに二酸化炭素の排出量と吸収量を均衡させゼロにする「カーボンニュートラル社会」の実現が宣言されました。

幕別でも今年度から脱炭素の計画策定に取り組んでいるが、次の点を伺う。

- (1) 二酸化炭素排出削減の一環として、ごみ処理の基本的な考えを焼却ではなく、富良野市や進んだ自治体を実施している、ごみを肥料や固形燃料等の資源として循環型にすることが求められるがいかがか。
- (2) 再生可能エネルギーの普及のために、家畜ふん尿利用のバイオガスパラントの推進と、個人住宅の太陽光発電と蓄電池に補助の実施を。
- (3) 町民全体で脱炭素を目指すための学習会や、計画の策定段階から町民が参加できる取り組みを行うべきではないか。

問 「町民・事業者・行政」が一体となり脱炭素社会の推進を
答 町民や事業者の意識向上を図り、町全体で継続的に活動を推進する

町長

(1) 可燃ごみの減量は、焼却に伴い発生する温室効果ガスである二酸化炭素等の排出抑制を図り、環境に配慮したごみ処理をこれまで以上に進めていく上で重要である。循環型にするには、多くの町民の理解を得ながら取り組んでいく必要がある、今後は、温室効果ガス排出量の「見える化」について、手法を含め検討を進め、ごみの焼却量の削減や資源化について町民や事業者の方と一緒に考えていきたい。

(2) 家畜ふん尿を利用したバイオガスパラントは、地球温暖化対策のみならず労働力不足や臭気対策など、家畜ふん尿処理に係る課題を解決する有効な手段と認識している。引き続き、十勝バイオガス関連事業推進協議会を通じて、国や電力会社等に対し要請活動を継続していく。

個人住宅の太陽光発電施設と蓄電池については(仮称)「幕別町地球温暖化対策実行計画」において、活用方法および支援策等について検討を進める。

(3) 大学教授や団体、学校関係者、公区長および公募による町民5人を含めた15人で組織する「幕別町地球温暖化対策推進委員会」を立ち上げる。さまざまな意見を伺うとともに、アンケート調査やパブリックコメントを行い、町民の意見を反映した(仮称)「幕別町地球温暖化対策実行計画」の策定を行う。

地球温暖化対策を確実に進めるためには、行政はもとより町民や事業者の意識向上が必要であることから、この委員会における議論をはじめ、計画策定段階から継続的に町民や事業者との意見交換を行うこととしている。

再質問

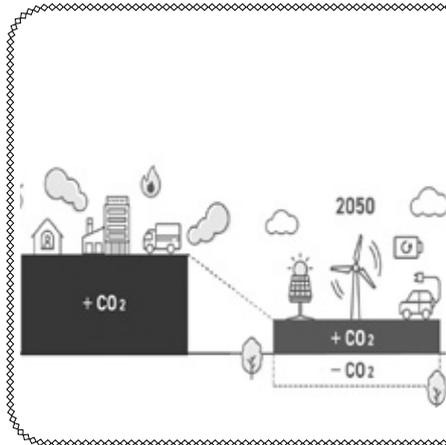
富良野市ではごみの総排出量の約90%を資源化し、二酸化炭素抑制効果は5470.3トン、固形燃料・生ごみ堆肥・有価物の販売で884万円の売り上げを上げている。参考にすべきではないか。

町長

実績を町民に対して提示することは、達成感を確認してもらうことにつながるので、大切なことであると認識している。今後は、全町的に一人ひとりの町民、事業所が協力し合って、達成感を得られるような形で進め、削減に努めていく。

【解説】

「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計をゼロにすること。





谷口 和弥 議員
(拓政会)

問

北海道内には、予期せぬ妊娠や経済苦で育児が困難となる恐れがあり、出産前から支援が必要と市町村が認定した「特定妊婦」が、令和3年度だけで931人いて、令和元年度の297人から3倍以上に増加していることが新聞報道で明らかにされた。

「特定妊婦」は児童虐待を防ぐため、2009年施行の改正児童福祉法で支援対象と明記された。市町村が妊娠届の提出時や妊婦健診、医療機関からの情報で把握に努め、年齢の若さや経済苦など厚生労働省の指標に照らし「特定妊婦」を認定することとされている。ついでには、以下の点について伺う。

町長

(1)母子手帳交付の際、厚生労働省が策定した「養育支援訪問事業ガイドライン」の支援の必要性を判

問 「特定妊婦」へ向けた対策・支援について
答 保健師の訪問記録や親子支援システムによる情報を活用し、支援体制を整えている

断するための一定の指標に示された8つの項目および厚生労働省通知「支援が必要と認められる妊婦の様子や状況例」チェックシートの36項目を確認し特定妊婦の判断を行っている。認定件数は、直近3年間で出生数436件のうち特定妊婦は22人であった。

幕別町の特定妊婦数の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	合計
特定妊婦数(A)	8人	9人	5人	22人
出生数(B)	139人	162人	135人	436人
特定妊婦割合(A)/(B)	5.8%	5.6%	3.7%	5.0%
※札幌市の特定妊婦割合	1.2%	7.0%	6.0%	4.7%

《特定妊婦とは》児童福祉法で、出産後の子の養育について出産前に支援を行うことが必要と認められる妊婦をいう。収入が不安定、統合失調症などの精神疾患がある、望まない妊娠をした場合などがこれにあたる。

問 「幕別町高齢者福祉ビジョン」の推進状況について
答 おおむね推計通りの執行となっている

(2)特定妊婦として支援が必要と思われる妊婦の情報提供があった場合には、こども課および保健課の担当者からなる「要保護児童対策調整機関」において児童相談所や警察などの他の機関と情報共有の必要性や、支援方法の検討を行っている。また、情報のあった妊婦については、保健師の訪問記録や親子支援システムによる医療機関からの情報を活用して、必要な支援を早期に行える体制を整えている。

問

幕別町は老人福祉法、介護保険法に基づいて、その両方を一体化させ、2021年度の両方を開始とし2023年度までの3か年計画である「幕別町高齢者保健福祉ビジョン2021」を策定した。「同ビジョン」は基本理念を「高齢者が健康で生きがいを持って生活し、介護が必要になっ

ても住み慣れた地域で自分らしく、尊厳が失われることなく、安心して生活できることを精神とする」とした計画である。ついでには、以下の点について伺う。

町長

(1)介護保険施設等における食費の負担限度額の増額による、利用控えや介護保険サービス事業所の経営・運営への影響はないものと認識している。新型コロナウイルス感染症の影響については、感染症への不安などから介護サービスの利用を控えた方がわずかにいると認識している。しかし、サービスを提供する事業所が、休所等により収入が減少してしまうことは、経営・運営に影響があるものと考ええるが、事業者からの相談等は伺っていない。

(2)給付費全体の推計に対する実績の比率は94%となっており、コロナ禍にあって例年の執行率と比較しても概ね推計どおりの推計となっている。今後もほぼ計画どおりに推移していくものと捉えている。



荒 貴賀 議員
(日本共産党
幕別町議員団)

問

2020年国連子どもの権利委員会「新型コロナウイルス感染症に関する声明」が出された。子どもたちの文化的・芸術的活動を大切にすること、学びの保障、栄養のある食事を確保すること、子どもの意見を聞くことなど11項目について提案が出された。多くの制限が出された子どもたちは、受け入れるしかなく、多くの楽しみを奪われてしまった。子どもたちの声を聴き、子どもたちの権利を保障する取り組みが求められている。

2010年4月「幕別町子どもの権利に関する条例」が制定されて12年が経つ。第2章「子どもにとって大切な権利」第3章「子どもの権利を保障する大人の責務」では、子どもの生きる権利の保障、育つ環境の保全等が掲げられている。子どもの声を聴き、活かすまちづくり、これまでのそして今後の町の取り組みについて伺う。

(1)子どもの権利に関する条例に沿った取り組み状況は。また子ども

問
きたのか
答
新たな計画を策定する際、子どもたちの意見を取り入れている

の声はどのように反映されてきたのか。

(2)子どもたちがまちづくりに参加できる仕組みづくりの考えは。

(3)学校の校則が全国的に問題になっているが、本町での現状は。

町長

(1)条例で規定している5つの施策について、一つ目「子どもの育ちの支援」では、保育所等への空調設備の設置等の環境づくりや埼玉県上尾市等の相互交流による人材育成、地域や自然を生かした総合的な学習の実施を行った。二つ目「子育て家庭の支援」では、子育て世帯の交流場所の提供、一時保育やファミリーサポートセンター事業による支援の実施。三つ目「子ども参画の促進」では、ナウマン公園大型遊具の設置には子どもたちが提案した遊具等の選定が実現や、明野ヶ丘公園再整備ワークショップにおいて、小学生チームが作成した成果が絵本になったなど参画している。四つ目「子どもの

権利の普及」では、子どもの権利絵画コンテストの実施、道徳、社会科やホームルームなどで子どもの権利について考える時間を設けるなど、子ども自らが子ども権利に関し興味を持ち、理解を深められるよう努めている。五つ目「虐待、体罰、いじめ等からの救済等」では、子どもの虐待防止シンボルマークであるオレンジリボン運動の推進や、年2回のいじめアンケート調査、年3回各学校で実施するいじめの問題への対応状況調査により実態把握に務め、子どもカウンセラー、スクールカウンセラーを配置するなど虐待やいじめ防止に取り組んでいる。

(2)ワークショップの開催や子ども向けアンケート実施をしている。今後、「幕別町地球温暖化対策実行計画」策定時に、2050年のゼロカーボン社会を中心に担う子どもたちから意見聴取を予定しているほか、可能な限り子どもたちが参加し意見表明ができる場の設定に努める。

『幕別町子どもの権利に関する条例』前文 (一部を抜粋)

子どもは、生まれながらにして一人ひとりがかけがえのない存在です。

子どもは、生まれたときから学び育つ力を持ち、未来への可能性が開かれています。

子どもは、周りの人に大切にされ、愛され、信頼されることによって、自分に自信を持ち、安心して健やかに育つことができます。

子どもは、子どもの持つ権利が保障される中で、その権利を正しく学び、自分の意思を自由に表明し、自分にかかわることに参加することができます。

(略)

未来をつくる子どものしあわせなまちの実現を図るため、この条例を制定します。

教育長

(3)各小中学校では、校則の随時見直しのほか、年度替わりに点検を行っている。校則の内容や校則に基づく指導について、児童生徒や保護者からの相談や意見などもなく、最近の見直しの事例はなかったと確認している。

校則の内容について、児童生徒の実情、保護者の考え方、地域の状況などに応じて、適宜、見直しに取り組むことや、校則に基づく指導に関して、校則を自分のものとしてとらえ、自主的に守るようにするなど、引き続き小中学校への指導に努める。

委員会レポート（常任委員会・所管事務調査・道内先進地視察調査）

◎総務文教常任委員会

【所管事務調査】

・令和4年8月25日

○まちの魅力を発信するための事業について

ホームページやSNSを用いてまちの情報発信を行っている現状について、政策推進課より説明がありました。

道内先進地視察調査

令和4年7月5日～6日

《栗山町》

「くりやま若者シテイプロモーション」について視察しました。

まちの魅力とともに問題点や不足している部分を町内外の人と考へ、町民の理解と協力がなければ前進していかない事業だと感じました。まちの魅力を発信するうえでメディアの目にとまることもきつかけとなるが、SNSを利用した情報発信、まちの制度をまちの魅力としてプロモーションすることで、知名度と愛着を持つてくれる人が増えるのではないかと思われた。

《恵庭市》

「ガーデンシテイえにわ」について視察しました。

まちの魅力を売り込むことがシテイプロモーションであり、まずは住民がまちに愛着を持つてくれる魅力を見つけ、多くの人と共に魅力を伝え広めることが成果になると感じたが、すべての条件に恵まれることは難しく、目的と目標が重要であると思われました。



栗山町役場



恵庭市役所

◎民生常任委員会

【所管事務調査】

・令和4年8月24日

【幕別町民生委員児童委員協議会との意見交換会】

◆共生社会と民生委員児童委員活動について

◆主な意見

・コロナ禍で1期目の民生児童委員研修会が中止になってきているため、能力に差が出ています。また、現在の活動は見守りが中心であり、地域を守るためには、民生委員だけではなく、町内会との結びつきが大事になっていきます。

・民生委員のなり手が不足している事が問題となっている。若い人を見つけて出す方法も考えていかなければなりません。



民生委員児童委員協議会との意見交換会

意見交換会にご協力いただきました幕別町民生委員児童委員協議会の皆さまには、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。



道内先進地視察調査

令和4年8月4日～5日

《芽室町》

男女共同参画の推進、ファミリーサポート事業について視察しました。

男女共同参画は、計画に留まらず、条例として位置づけたことは、政策を実施するにあたり大きな前進であると感じました。一方で策定した条例をどのように生かすのか、住民参加、意識改革、仕事・家庭・地域社会など、多様な活動を自らの希望に沿った形で実現できる社会を目指すビジョンを持つ大切さを感じました。



芽室町役場

〈函館市〉

男女共同参画社会現実をめざすためにいち早く条例・基本計画を策定した取組について視察しました。

将来目標を掲げ具体的な体系図を掲示し、男女共同参画フォーラムの開催、情報誌の発行など各種施策を推進してきたことよって、市民の男女参画に対する意識は浸透していると感じられました。しかし、意識調査によると「男は仕事、女は家庭」という固定的役割分担意識があり、多岐にわたり積極的な取り組みを行っていても、男女共同参画社会の現実はまだ簡単ではないものであると実感しました。



函館市役所

◎産業建設常任委員会

【所管事務調査】

・令和4年8月22日

○電子地域通貨の概要について調査内容は、「常任委員会クロージングアップ」(16ページ)に掲載しています。

道内先進地視察調査

令和4年7月26日〜27日

〈鹿追町環境保全センター〉

温室効果ガス削減について、家畜糞尿を利用した新たな産業について視察しました。

地球温暖化対策やエネルギーの地産地消、循環型農業の確立につながっている取り組みであり、地域にとって新たな収益をもたらす新しい可能性を開くものと感じました。

〈中富良野町〉

地方創生事業によるまちの活性化について視察しました。

機構改革も行い本格的にまちの活性化に向かおうというまちの姿勢や、町内事業者、民間企業、近隣自治体を訪ね、町民と協力してまちづくりを進めようという姿勢が、協力関係を広げ、創意ある取り組みを実現させていると感じました。

〈美瑛町〉

電子地域通貨(愛称…Beコイン)について視察しました。

○調査内容は、「常任委員会クロージングアップ」(16ページ)に掲載しています。

豆知識～会派とは？～

町行政に対して同じ考えや意見をもった議員同士が議員活動を行うために結成された団体のことで、幕別町議会では、昭和60年に本会議中心主義から委員会中心主義に移行したことにもない、委員会等の円滑な運営を図るため、会派制度が導入されました。会派への所属状況は下記のとおりです。

会派名	会派代表	構成員
日本共産党 幕別町議員団	野原恵子	荒 貴賀・酒井はやみ
拓政会	田口廣之	芳滝 仁・藤谷謹至 内山美穂子・小田新紀・石川康弘
政清会	若山和幸	小川純文・岡本眞利子
政風クラブ	千葉幹雄	小島智恵
(無所属)	藤原 孟 (令和3年12月14日付けで政清会から脱会) 谷口和弥 (令和4年9月20日付けで拓政会から脱会)	

※正副議長は会派に所属しません。



鹿追町環境保全センター



中富良野町役場

全員協議会を開催

9月21日、全員協議会を開催しました。平成30年から令和9年度までの10年間を計画案としている「第6期幕別町総合計画」の後期見直しについて、見直しの進め方、見直しスケジュールについて説明を受けました。

また、令和7年5月からの導入に向けて取り組みを進めている「図柄入りご当地ナンバープレート」について、6月の全員協議会での説明以降の進捗経過について説明を受けました。

令和4年12月 第4回定例会日程(予定)

- 11月30日(水) 初日 / 議案審議
- 12日(月) 一般質問・議案審議
- 13日(火) 一般質問・議案審議
- 14日(水) 一般質問・議案審議
- 16日(金) 最終日 / 議案審議

◎議会傍聴は「マスク着用」をお願いします。

令和3年度決算審査特別委員会 Q&A

9月13日、14日の2日間、令和3年度の町の予算が適正に執行されているか、行政効果を確認し評価を行う決算審査特別委員会を開催したので、質疑の一部を要約して掲載する。



総務費

災害用備蓄品整備事業について

Q 災害用備蓄品に液体ミルクの導入の検討状況は。

A 賞味期限が延びた商品が出たことから、粉ミルクの更新に併せて一部を液体ミルクに置き換えていく事を検討している。

衆議院議員選挙執行事務事業について

Q 投票所の土足入場のための対応は進んでいるのか。

A 試行的に実施している市町の状況を聞きながら、検討を引き続き進めていく。

庁舎維持管理事業について

Q 庁舎外回りの管理はどのような手法で計画をもっているのか。

A 草刈りは、最低年一回実施。周辺の芝桜のところは、近年は中札内高等養護学校の作業の一環として生徒さんの協力を得て行っている。

民生費

ひきこもりサポート事業について

Q 相談件数116件に対し利用実績は。一度で利用を止めた方がいるのか、また、グループ等で研修等が行われたのか。

A 19人から相談を受けていて、複数回利用している。個別の相談なのでグループでの対応はとっていないが、相談後に関係する方が一緒の場所で話し合いをする事業がある。

学童保育所運営事業について

Q 学童保育所でのスワディ号の利用は。

A 毎年定期的な購入または更新で一定数の図書を保有しているが、スワディ号のニーズについて把握に務め、必要であれば検討していきたい。

へき地保育所運営事業について

Q へき地保育所を継続していくための基準は。

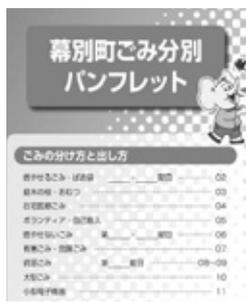
A 5人以上を通常の運営の人数の基準であり、5人以下が見込まれるときは、保護者含め地域の方との協議、検討している。

衛生費

ごみ収集運搬処理事業について

Q ごみ分別冊子をリニューアルしたが、スマホを活用したシステムの導入については。

A 先進自治体が活用していることは把握している。まずは分別に関する意識づけが大切であり、引き続き啓発していきたい。スマホの活用などの手法については、今後の改正時に検討していきたい。



Q 集団資源回収協力交付金について、いくつか決まった資源を

公区などの団体が集めて交付金を受領する制度だが、町の処理費の軽減にもつながるので広めていく考えは。

A 広報等を含めて、いろいろな場面で資源回収の協力をお願いしていきたい。

常任委員会クローズアップ 産業建設常任委員会のうごき

幕別町商工会との意見交換会 ～令和4年5月24日～

幕別商工会正副会長、支部長らと意見交換会を行い、コロナ禍における町内経済の状況や、その中で検討中の電子地域通貨の概要について説明を受けました。

道内先進地視察調査 美瑛町「電子地域通貨（愛称:Beコイン）」 ～令和4年7月27日～

美瑛町（人口9,609人）にある小規模事業所は368件。過去に実施したプレミアム商品券事業は効果が一時的であったことや印刷・換金コストなどの課題があったことから、地域内の経済循環や地域のコミュニティづくりなどを目的として電子地域通貨「愛称:Beコイン」を導入。導入後の課題は、事業者による商店街活性化や行政ポイントの拡大、システムの充実、高齢者使用率や利便性の向上ということでありました。

良い事業だと思うが、美瑛町と比べると本町は小規模小売店があまりにも少ないため、今後加盟店の増強や大型店の扱いなど熟慮が必要になってくると感じました。



愛称:Beコインの概要説明（美瑛町役場）

本町全域で経済循環を図ることなどを目的として、幕別町商工会が主体になり電子地域通貨の導入を進めています。本委員会はこれらに関する調査などを行いました。

所管事務調査 電子地域通貨の概要について ～令和4年8月22日～

経済部商工観光課より、電子地域通貨の導入に至る経過、事業の概要について説明を受けました。

幕別町 電子地域通貨 事業の概要（案）

事業名称:「まくべつPAY（仮）」

事業主体:幕別町商工会

利用媒体:カード、携帯アプリ

事業開始時期:2022年12月頃（予定）

利用者優待:電子マネー入金額の1%を
プレミアム分として入金

将来施策:商品券事業の切り替え、
自治体ポイントの付与

（主な質疑）

Q:現時点での参加事業所数、目標数は

A:参加事業所数は7月末時点で68件、150件を目標としています。

Q:カードの保有数は

A:10,000人以上保有してもらえるよう制度設計していきます。



所管事務調査（役場3階会議室）

表紙写真を
募集して
います!!

幕別町内での身近な暮らしの出来事や行事、風景などを募集しています。スマホカメラでの撮影写真も歓迎します。お名前、撮影場所やタイトル、コメントも添えて右のQRコード、メールアドレスからご応募ください。

※採用された方には、500円分の図書カードをプレゼントします。
締切は、令和5年1月6日（金）です。



議会メールボックス gikaijimukyoku@town.makubetsu.lg.jp

編集後記

収穫の秋に気候危機といえる台風が次々とわき出ている、全国各地で記録的短時間大雨情報が頻繁に出されています。豪雨による被害が心配される9月であります。

さて9月定例会での一般質問は6人でありましたので、広報委員会として、読みやすい議会だよりにするために、構成等について検討をしているところであります。皆さんの声を伺いながら編集に反映させていきたいと思っています。ご意見や感想をお寄せくださいますようよろしくお願いいたします。

藤原 孟

議会広報広聴委員会

委員長 荒 貴賀 副委員長 内山美穂子

委員 石川康弘 小島智恵 岡本真利子 藤原 孟

ご意見をお寄せください

議会だよりをより良い紙面にしていいためみなさんのご意見や感想をお待ちしています。また、議会への質問やご意見もお寄せください。



議会ホームページ



議会メールボックス